8　鶯野の虚空蔵さん

鶯野村の鎮守三嶋神社は古い歴史があり、天正十三年の棟札が今なお祀られていると伝えられているという。この神様のおつかいは水中の「うなぎ」であると信じられ「うなぎ絵馬が奉納されてきている。お宮の北方八〇メートルくらいのところには神池の跡があり、昔はこれにうなぎを奉納して祈願したものであるともいわれている。

三嶋神社は、伊豆の国、一の宮から分神された祭神大山祇命（おおやまずみのみこと）とされているが、合祭されている福一満、虚空蔵菩薩（こくぞうぼさつ）がまた有名で、ご神体は一本の木で三体の虚空蔵がつくられ、浅間、最上、羽後（鶯野）にそれぞれ祀られたと伝えられていて、これを俗に三虚空蔵と呼んでいる。この村の氏子は産土神（うぶすな）がらといってうなぎを食べない村とされてきている。